



活動経過及び予定

- 7月12日 理事会
- 7月23日 県費事務改善検討委員会
- 8月7日 県費事務改善検討委員会
- 8月9日 評議員会・総代会
学校事務現状報告会
- 8月27日 県費事務改善検討委員会
- 9月18日 理事会・常任委員会

本年度第2回評議員会開催

8月9日評議員会を開催しました。会長あいさつ、経過報告のあと協議がなされました。協議内容は、総代会について、学校事務現状報告会について、各地区からの議題等について協議されました。再確認をする議題が多く予定通りの時間でスムーズに終わることができました。

次年度事業に向けて一部提案もしてあります。今後、各地区で議論していただき第3回評議員会まで意見を持ってきていただけるようお願いいたします。

第12回総代会開催

県事協第12回総代会が8月9日県教職員互助組合会館にて盛大に開催されました。今総代会よりみなさんの意見をより多く反映することができるよう総代会定数を増やしました。

会長から「県事協の充実発展は地区事務職員会（協会）の充実発展に係っていますので、地区事務職員会（協会）がますます充実されることを願います。」とのあいさつがあり、そのあと来賓の互助組合、共助会、学校生協（福利厚生事務センター）、教職員共済、鹿教組の代表の方々からのこれまでの活動への敬意や激励の言葉が寄せられました。また教職員課と総務福利課からもメッセージをいただきました。

その後、日置地区の松元千年（串木野小）さんを議長に選出し、第1号議案「事業経過・決算報告に関する件」、第2号議案「事業計画・予算（案）に関する件」、第3号議案「役員承認に関する件」、第4号議案「会則改正（案）に関する件」について審議し、全て承認されました。

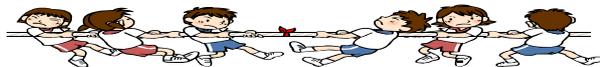
今回は役員体制について変更がありました。吉井副会長が退任し新たに越智理事が副会長に、越智理事の副会長就任に伴って宮後理事（始良・伊佐〈牧之原小〉）が新しく就任し、新体制がスタートしました。今後もよろしくお願いいたします。退任する吉井副会長は5年間もの間がんばっていただきました。本当にお疲れ様でした。

また、監事に南薩より池田智子（山川中）さん、北薩より白川誠一（永利小）さんが選出されました。

よろしくお願いいたします。

【新役員体制】

役職名	氏名	地区	学校名	備考
会長	迫田弘昭	大隅	内之浦小	
副会長	越智義隆	南薩	川畑小	新任
理事	新留浩樹	北薩	中津川小	
	寄井田雅裕	北薩	鶴川内中	
	宮後公治	始良伊佐	牧之原小	新任
	内田ひとみ	鹿児島	一倉小	
監事	濱田裕樹	始良伊佐	隼人中	
	池田智子	南薩	山川中	新任
	白川誠一	北薩	永利小	新任



総代会の様子（教職員互助組合会館 2013.08.09）

副会長退任のあいさつ

吉井 文明

毎日、職場環境が決して良好とは言えない学校で汗と涙を流しながら勤務されていらしゃる先生方、お疲れ様です。退任にあたり、ひと言ご挨拶もうしあげます。5年間でしたが、力不足の私がまわりの皆さんに支えられて何とかやってきました。本当にありがとうございました。

ところで話は変わりますが、皆さん、最近ときめいた事って何かありますか？私は学生の頃、汽車の周遊券でよく旅をしていました。山陰のある港町の民宿に泊まったことがあります。家族皆さんで協力して生業されており、中学生位の娘さんも手伝っていました。夕食を一緒にしたのですが、その子が照れくさそうに頬を赤らめ私にビールを注いでくれました。そのはにかむ姿を見て、ちょっとときめいた記憶があります。

学校は人と人が出会い、ふれあい、ぶつかり合ったり、寄り添ったり人間として大事な礎を築く学舎です。パソコンは汎用性の高い目的達成のための道具です。学舎において一人の大人（おじさん）として子どもたちの人生の機微にちょっとでも触れることができ、肥やしになればいいなあとと思っています。笑顔と歓声の絶えない学校の環境整備のために少しずつ頑張ろうと思います。皆さんも無理しないでポツポツやってください。

あ、それから県事協への協力もよろしく願います。

副会長就任のあいさつ

越智 義隆

吉井副会長の後任として任につくことになりました南さつま市立川畑小学校の越智です。吉井副会長には、会長を補佐しながら落ち着いて物事にとりくんでいらした姿勢など多くを学ばせていただきありがとうございました。

県事協は組織的に若いのかもかもしれませんが、県事協の事業は12年間で福利厚生関係様式記入例から始まり旅行起点表（休止中）・認定事務電算マニュアル（加除式）・給与電算等の実務手引書（加除式）について県教委教職員課・福利厚生課はじめ関係団体と連携して地区会員の皆様と共に進めてきており、これらの資料が今では各地区事務職員会（協議会）の協力のもと県下

のほとんどの学校で活用していただけるまでになりました。

また、県事協が発足後10年目からは、現状報告会を開催し各地区の事務職員が集まり報告を行っています。あらためて各地区からの支援や協力なしでは成り立たない組織であり県下の学校事務職員が等しく情報を共有・享受する場としての県事協とおもいます。

県事協の理事で事業担当をさせていただいた経験を生かして活動していきたいと思えます。微力ながら何らかのお役に立てられるよう尽力してまいりますのでご指導ご鞭撻よろしく願います。

理事就任のあいさつ

宮後 公治

今回、県事協の理事をさせていただくことになった、霧島市立牧之原小学校の宮後公治です。私事で恐縮なのですが、近頃「老眼」というものに悩まされるようになってきています。そんな折りに、理事の依頼を最初に電話口で聞いたため、最近耳までおかしくなったか？と怪訝に思ったのですが、どうやら本気とのこと。しかし、県事協でこの2年間常設委員をしていたため、理事の仕事の大変さを近くで見してきました。そんな私ですので、理事の依頼を受けるつもりは毛頭なかったのですが、「事務職員」は、多くの方々に様々な場所で頑張ってもらっている。そう思うと大変だから断わるという選択肢は私の中で消えていきました。私で理事が務まるのかという不安は今でも拭えないのですが、力量不足に真摯に向き合いながら役が務まるようにがんばっていきたく思いますので、どうかよろしくお願いいたします。



左より 宮後さん 越智さん 吉井さん

学校事務現状報告会を開催

8月9日（金）午後1時より互助組合会館大会議室にて各地区事務職員会等の協力の下、学校事務現状報告会を行いました。今回で4回目になります。県下各地より100名を超える参加がありました。

会長から「鹿児島県内の学校事務は地区、市町村により実情に違いがあるかもしれませんが、事務職員は人事異動標準で全県的に学校事務を担当することになりました。今日の報告も自分の地区とは違う所もあるかもしれませんが、ぜひ、前向きな議論をしていただいて2学期からの支援室運営に役立てていただければありがたいです。」とのあいさつがありました。

その後の大隅地区の曾於市小中学校事務職員会から「曾於市の共同実施の経緯と現状」、始良伊佐地区の始良市蒲生地区学校事務支援室から「始良市の蒲生地区における共同実施の先行実施について」を、最後に日置地区の日置市小中学校事務職員会から「日置市における学校事務支援室の取り組み」の計3本をレポートしてもらいました。それを基に質疑応答、意見交換等行われました。特に曾於市における市予算執行の室長専決の件や日置市からのレポートの扶養手当の受給権調査の権限移譲における取り組みについては質疑・意見が多くあり関心の高さが伺えました。

昨年度よりも意見交換の時間を増やした日程で望みましたが、まだ少し不十分だったかもしれません。しかし、100名を超える参加者のみなさんが今後の学校事務のあり方や現状について考え、学ぶ良い機会になったと思います。今回の現状報告会の詳しい内容については各地区等で環流されると思います。参考にいただければと思います。また、参加者のみなさんにアンケートも御協力いただきました。ご意見をいくつか掲載したいと思います。

- ・ 支援室で様々な取り組みを行うとき迷いや疑問に思いながら実施しているところもあると思うので意見交換等あるこの会を設定することは必要である（30歳代）
- ・ 自分では気づくことができない点について多くの意見が出され大変勉強になりました。支援室での業務に生かしていきたいと思います。（30歳代）
- ・ 部活やスポーツ少年団の遠征費にお金がかかり家庭の負担増が当たり前になっている。今後このことにも目を向けて欲しいと思う。（50歳代）
- ・ 他地区の現状や取り組み事例について学べる機会が無いので非常に良かったです。（20歳代）
- ・ 3地区の観点の違った報告を聞いて大変参考になった。（50歳代）

他にも様々なご意見をいただきました。回収率も71%と高く大変参考になる意見ばかりでした



全体的にはこのような実践を報告し、それを聞く貴重な機会をぜひ継続して欲しいとの意見がほとんどでした。アンケートの意見を参考に今後の現状報告会のあり方について評議員会等で検討していきたいと思います。

次年度以降についても実施して行く予定です。ぜひ、積極的な参加（報告も含めて）をお願いいたします。

会員のみなさんが等しく情報を共有できる場として各地区事務職員会と連携に努めたいと思います。

今後とも御協力よろしくをお願いいたします。

各地区の事務職員会等の紹介

大島地区の活動状況報告

大島地区公立小中学校事務職員協会（略称：大事協）会長 加川 純男
本年度の総会を無事終了したことを、会員に感謝したいと思います。本会の基本理念の一つである、「全員参加の輪＝会」を目標として、本年も活動していきます。もうひとつは、理事会の充実です。総会での意見集約は難しい部分もありますが、年3回の理事会において、各市町村の意見を集約して、本会の充実を目指します。

総会終了後の懇親会へは、教育事務所総務課職員を含め、多くの会員が参加されました。年1回の交流の場でもあり、離島という状況で本会の基本理念を生かす場でもあります。これからも大事にしていきたいと思えます。

大島地区の活動状況は、「大事協だより」に掲載してありますので、そちらをご覧ください。大島地区の伝統を守りながら、他地区の活動を参考にしたいと思えます。

※大事協だよりは、県事協ホームページに掲載してあります。ぜひご覧ください。

http://www.kyojo.jp/kenjikyou/tikubetu_joho_oosima.html

県費事務改善検討委員会途中報告

「諸手当認定・電算マニュアル」「県小中学校事務の実務手引書」の加除作業並びに「福利厚生様式記入例集」のペーパー化に向け夏季休業中に集中して作業を行いました。マニュアル等全ての内容について再確認をしました。

9月の常任委員会では県教委（教職員課・総務福利課）点検依頼に向けて最終確認をします。夏季休業中にも関わらず、常設・常任委員を中心に各地区選出の検討委員の方々にも出席していただき検討ができました。検討した資料なんと250枚以上にもなります。御協力ありがとうございました。

今後、県教委からの点検結果後、修正等おこない1月に印刷会社へ印刷を依頼し、2月中には会員のみなさんの手元に届けることができるよう作業していきます。



編集後記

今年の夏の事務室は本当に暑かった。特にお盆頃の事務室は連日35度を超えていた。窓を開けると桜島の灰と校庭の砂埃で机の上はザラザラ、蚊も襲ってくる。全く集中力が出ない中でも仕事をこなさなければならず本当につらかった。780名弱の給食費と学年費の台帳整理ならびに督促状の発送準備を8月21日の出校日までに間に合わせなければならず、同時に就学援助費（修学旅行費）の支給事務もその時期に合わせて処理をしなければならなかった。8月22日からの4日間は39度の発熱、嘔吐、激しい頭痛で寝込んでしまった。毎年、予算要求でエアコンの設置をあげているが全く設置の予定は入ってこない。きつい夏休みも終わった。来年は、少しは改善されれば…。(濱田)

